

ほけんだより



令和4年1月26日
広神東小学校 保健室

3学期がスタートして、2週間が過ぎました。冬本番を迎え、十分な積雪量の中、子どもたちは外でスキーをしたり、雪遊びを楽しんでいます。

新潟県内では新型コロナウイルス感染症の蔓延防止措置が初めて適用され、感染拡大防止対策の徹底に努めるよう、県・市教委からも通知がきています。緩和されていた出席停止の扱いや、早退措置も以前のように戻ります。※詳細は配付された文書をご確認ください。

手洗い・手指消毒、3密回避、マスクの着用など、基本的な感染対策を継続し、家庭での体温チェック・健康観察をしっかりと行っていただくようお願いいたします。

○同居家族に発熱等のかぜ症状がみられる場合についても登校を控え、医療機関等で検査を受け、陰性が判明するまで、または、新型コロナウイルスではないと診断されるまで出席停止。

○登校後、発熱等のかぜ症状がみられる場合、きょうだいも一緒に下校します。

「健康カード」の確認と「食物アレルギー調査票」の記入について

お子さんの健康状態を確認いただくために、「健康カード」を持ち帰ります。中を確認いただきましたら、保護者印欄（見た印欄）に押印（サイン）をお願いいたします。

また、「食物アレルギー調査票」については、来年度の学年の欄に記入・押印いただき、健康カードと共に提出をお願いいたします。



提出は1月31日（月）までをお願いいたします。

【「発育測定結果のお知らせ」について】

発育測定結果から疾病・異常の早期発見に努めています。毎学期、基準に基づいて配慮が必要な場合にお知らせをしています。お届けしたグラフを確認いただき、ご家庭での生活習慣改善について親子で話し合っていたいただければと思います。受診が必要な場合は、専門医にご相談ください。

【広神東小学校 3学期 学年・男女別平均と4月からの増加量の平均】

	身長 (cm)				体重 (kg)			
	男子		女子		男子		女子	
	平均	増加	平均	増加	平均	増加	平均	増加
1	121.9	5.0	122.9	4.9	25.2	2.4	24.4	2.3
2	128.6	4.5	124.8	4.4	29.9	3.3	25.6	2.8
3	132.6	4.0	130.9	4.4	30.2	2.9	27.5	2.7
4	136.2	4.4	140.9	5.9	32.6	3.1	35.9	3.9
5	146.6	5.9	146.9	5.4	39.9	3.8	38.7	4.7
6	152.1	6.3	151.2	4.5	44.7	5.8	44.3	4.0

○あくまでも平均ですが、体重増加量が平均を大きく上回る場合は肥満に傾きやすくなるため、注意が必要です。 ※ 色付きは、性別・学年別最大増加量を示しています。

6年生禁煙教育から

1月14日に地域医療魚沼学校長の布施小出病院長様から6年生を対象に禁煙教育をしていただきました。保健学習の「たばこの害」を学ぶ1時間で、毎年お話をいただいています。

- ① タバコは本人にとっても周りの人にとっても有害なもの
- ② タバコを吸い続けることは「依存症＝病気」である。
- ③ タバコを吸うためのお金がかかる。周りの環境にも悪影響がある。将来就職や恋愛、生まれてくる子どもにもよくない影響がある。
- ④ 依存症は病気。禁煙外来で治療をすることが大切。
- ⑤ 吸うか、吸わないかの選択は、今後の人生にとっても大きな影響をもたらす。

みんなには将来タバコを吸わない選択をしてほしいです。



【子どもたちの感想から】

- 自分は周りの人が吸っていても絶対吸わない大人になりたいし、家族や大切な友達が吸っていたら、たばこを吸わないように説得したい。
- 今まではたばこを吸うのはその人の自由だと思っていたけど、たくさんお金を使ったり、周囲の人にも迷惑がかかることだから、吸わないでほしいと思った。
- 思っていたよりもタバコが危険な物ということがわかった。他人に迷惑をかけてしまうから私は大人になってもタバコは吸いたくないと思った。
- タバコを吸うとがんになりやすくなるし、吸ってなくても煙を吸うだけでがんになりやすくなるから、たばこを吸わないように気をつけたいと思いました。

子どもたちは専門医から正しい知識を得ることで、自分がどんな選択をすべきか、考えを深めました。一緒に暮らす家族の行動も大きく影響します。6年生以外のご家庭でも、喫煙についてお子さんと話し合ってみてはいかがでしょうか？



新型コロナウイルス 子どものワクチン接種について

新型コロナウイルス（オミクロン株）の感染者が急激に増加しています。その中で、子どもの感染者も増加しています、入院を要する子どもも見られるようになってきたと報道されていました。

日本では5～11歳のワクチン接種が特例承認されました。日本小児科学会が「基礎疾患のある子どもへの接種により、重症化を防ぐことが期待される」とした上で、健康な子どもについても「12歳以上の健康な子どもへのワクチン接種と同様に意義がある。」との見解を示しています。

日本小児科学会、厚生労働省等のホームページなど、専門機関の情報を参考にしながら、接種について親子で話し合っって対応を決めていくことが望めます。